

平成 19 年 11 月 20 日

各 位

会社名 株式会社 文 溪 堂
代表者名 代表取締役社長 水 谷 邦 照
(コード番号 9471 名証第2部)
問合せ先 取締役管理本部長
舟 戸 益 男
(TEL 058-398-1111)

通期業績予想の修正および配当予想の修正に関するお知らせ

1. 通期業績予想（連結・個別）の修正

最近の業績の動向を踏まえ、平成 19 年 5 月 22 日に公表しました平成 20 年 3 月期（平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日）の通期の業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

(1) 連結業績予想の修正

(百万円未満、小数点第 1 位未満は切捨て)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 10,400	百万円 590	百万円 580	百万円 330
今回修正予想 (B)	10,380	480	470	180
増減額 (B-A)	△ 20	△ 110	△ 110	△ 150
増減率 (%)	△ 0.1%	△ 18.6%	△ 18.9%	△ 45.4%
前期(平成 19 年 3 月期)実績	10,297	550	537	338

(2) 個別業績予想の修正

(百万円未満、小数点第 1 位未満は切捨て)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益又は 当期純損失(△)
前回発表予想 (A)	百万円 9,150	百万円 510	百万円 490	百万円 270
今回修正予想 (B)	9,150	410	400	150
増減額 (B-A)	—	△ 100	△ 90	△ 120
増減率 (%)	—	△ 19.6%	△ 18.3%	△ 44.4%
前期(平成 19 年 3 月期)実績	9,066	466	452	△ 86

(3) 連結および個別業績予想修正の理由

業績予想修正の要因は、当中間(連結)会計期間の営業利益、経常利益が前回予想を下回る結果になったことに加え、下半期も原油価格の高騰により、教材・教具の製品(裁縫セット、画材セット等)原価の増加が見込まれることによります。また、当期純利益につきましては、特別損失に役員退職慰労引当金繰入額の計上により減益を見込んでおります。

2. 期末配当予想の修正について

当社は、平成19年11月20日開催の取締役会におきまして、平成19年9月30日を基準日とする剰余金の配当を前回予想とおりの5円00銭で決議するとともに、平成20年3月期の期末配当予想について、下記のとおり修正することといたしましたので、お知らせいたします。

(1) 期末配当予想の修正

基準日	1株当たり配当金		
	中間期末	期末	年間
前回予想(平成19年5月22日公表)	5円00銭	5円00銭	10円00銭
平成20年3月期(実績)	5円00銭	—	—
平成20年3月期(今回修正予想)	—	4円00銭	9円00銭
平成19年3月期(実績)	4円00銭	3円50銭	7円50銭

(2) 配当政策の基本方針

当社の利益配当につきましては、長期にわたり安定的な経営基盤の確立に努めるとともに、安定した利益配当を継続的に実施することを最重要政策のひとつとして位置づけており、従来の安定的な配当を行う方針に加え、業績連動型の配当を行うことを政策といたしております。

具体的には、単体の当期純利益の25%相当額を目処に年間配当金総額を決定してまいりましたが、株主の皆様に対する利益還元をより一層充実させる観点から、本年度より年間配当金総額は、当期純利益の40%相当額を目処とさせていただきます。なお、利益水準にかかわらず最低年間配当金として1株当たり7円50銭を目標といたしております。

(3) 期末配当予想の修正の理由

上記の基本方針に基づき、本日公表の通期業績予想を踏まえて、期末配当金につきましては、当初予想に対して1株当たり1円を減額し4円とさせていただきます。

(注) 上記の予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上